

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだち		
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19(うち兄弟児2組)	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム(キラッとメニュー)を固定化しないよう考えています。	子どもたちが好きな事やスタッフの得意な事を取り入れながら、毎回スタッフ自身も楽しめるように考えています。	子どもの特性や得意な事などを見極め活動に取り入れていきたいです。
2	異年齢の関わりが出来る事です。 大きい子が自然と小さい子のお世話をしてくれたり、小さい子は大きい子を見ながら色々なことに挑戦しようとしたりする関係があります。	小学1年生～高校1年生の年齢の幅が大きく、個々に合わせた活動プログラムや配慮を行っています。	日々の活動や遊びの中で、自立に向けた取り組みを職員全体で行っています。
3	楽しみに通ってくれる子が多い事です。	活動プログラムの充実やスタッフが全力で子どもたちと遊び、楽しんでいることが一番だと思います。	楽しく遊ぶ中で社会性や自立に必要な事を伝えていけるように取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない事です。	・放課後の限られた時間の中で地域交流を行うことが難しい事、曜日を固定で利用する子が多いです。	・長期休暇の中で地域の増やす等していくようにします。地域のイベントなどの情報収集をより行っていきたいです。
2	利用者の年齢が上がってきた事により、事業所のプレイルームが少し狭くなってきている。	・戸外に出ることが少なく、室内で過ごす事が多いです。	・戸外での活動プログラムを増やしていくこと、庭も広くはないので、工夫して過ごせる環境整備を行っていくようにします。
3	集中出来るスペースが十分に確保できていない。	・部屋があるが、送迎の時間等が重なり、職員の確保が難しい時もあります。	・パーティションやカーテンなどを使い工夫していきたいと思えます。